

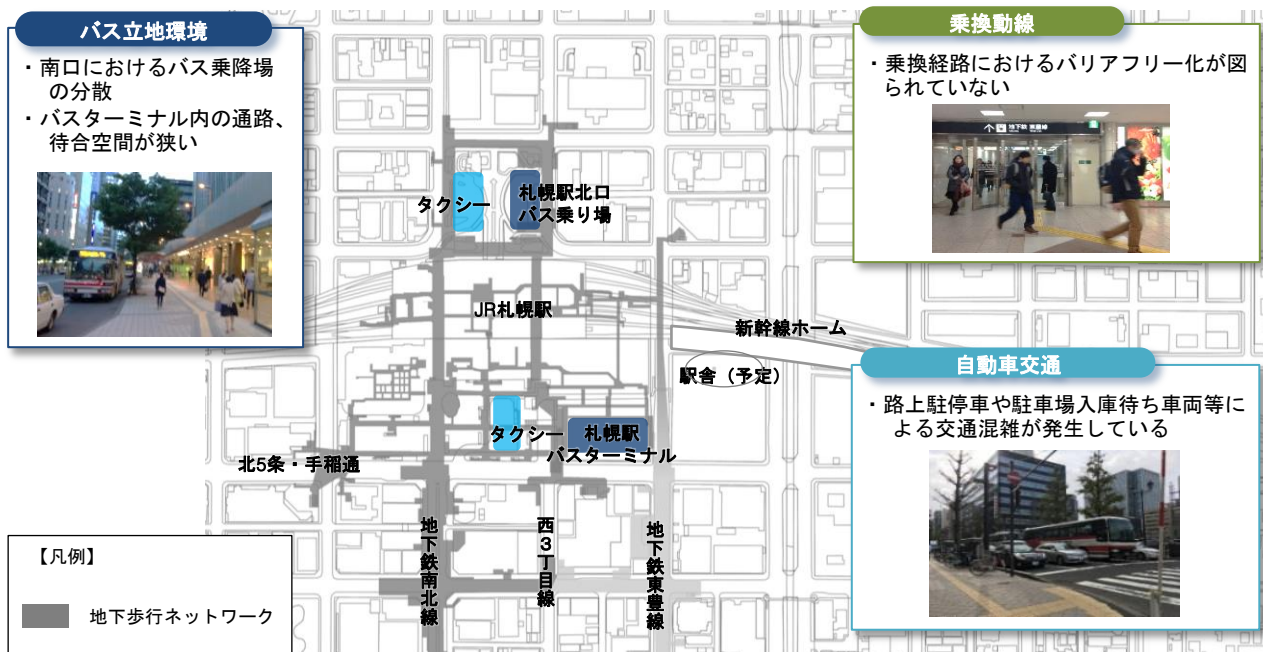
2. 基盤整備

基本方針 2

多様な交流を支える、利便性の高い一大交通結節点の形成

- ・北海道新幹線札幌開業に対応した交通基盤の再整備が求められる
- ・札幌駅南口のバス乗降場がバスターミナルのほかに路上にも分散している
- ・バスターミナル内の通路幅・待合空間が狭い
- ・地下鉄・JR在来線・バス等の主要な交通機関を結ぶ乗換経路において段差等があり、バリアフリー化が図られていない
- ・路上駐停車や駐車場入庫待ち車両等による交通混雑が発生している

現状・課題



取組の方向

1) 新幹線駅施設とまちをつなぐ交通基盤整備等を進める

- ① 新幹線駅につながる歩行者動線の確保
- ② 創成東地区との連携の検討

2) 各方面と札幌駅とのアクセス性を向上させる

- ③ 都心アクセス強化（創成川通の機能強化）との連携

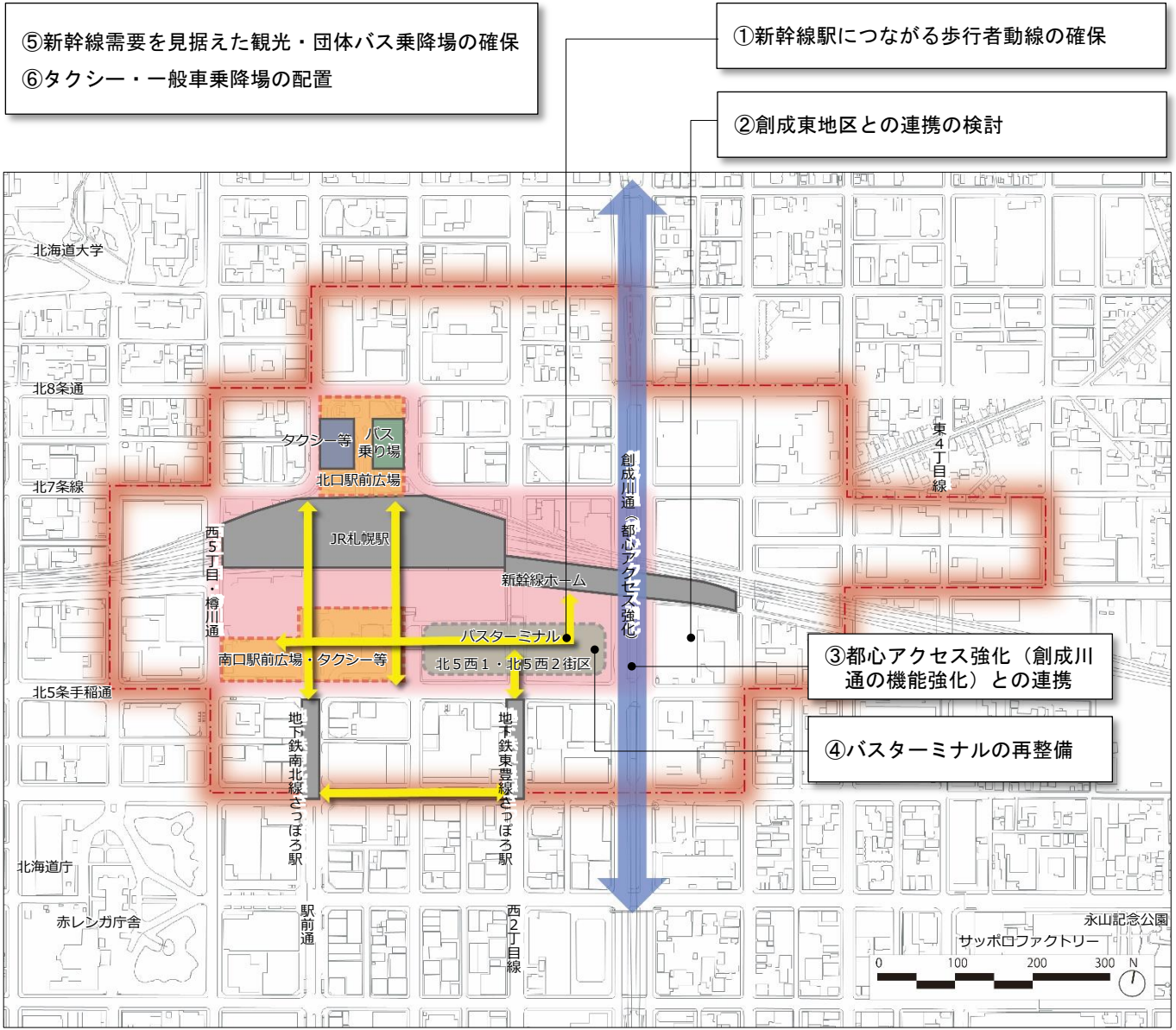
3) 利便性の高い交通結節機能の充実を図る

- ④ バスターミナルの再整備
- ⑤ 新幹線需要を見据えた観光・団体バス乗降場の確保
- ⑥ タクシー・一般車乗降場の配置

4) 人とにぎわいの形成に配慮した交通環境を実現する

- ⑦ 誰にでもわかりやすく、バリアフリーに配慮した歩行者動線の整備
- ⑧ 駐車場・駐輪場の適切な確保

【対象区域における取組の方向の全体イメージ】



- ⑦誰にでもわかりやすく使いやすい歩行者動線の整備
- ⑧駐車場・駐輪場の適切な確保

【凡例】

- 札幌駅交流拠点先導街区
- 鉄道駅
- バス乗降場
- タクシー等乗降場
- 公共交通機関の主要な乗り換え動線
- 駅前広場

取組の方向1) 新幹線駅施設とまちをつなぐ交通基盤整備等を進める

新幹線施設とまちづくりの緊密な連携により、まちづくりの効果を最大限発揮します。

① 新幹線駅につながる歩行者動線の確保

- ▶ 今後整備される新幹線駅をはじめ各交通施設が相互につながる乗換動線を整備します。
- ▶ 北5西1・北5西2街区の再開発をはじめとする周辺の再開発等と連携しながら交通基盤整備を進めます。

② 創成東地区との連携の検討

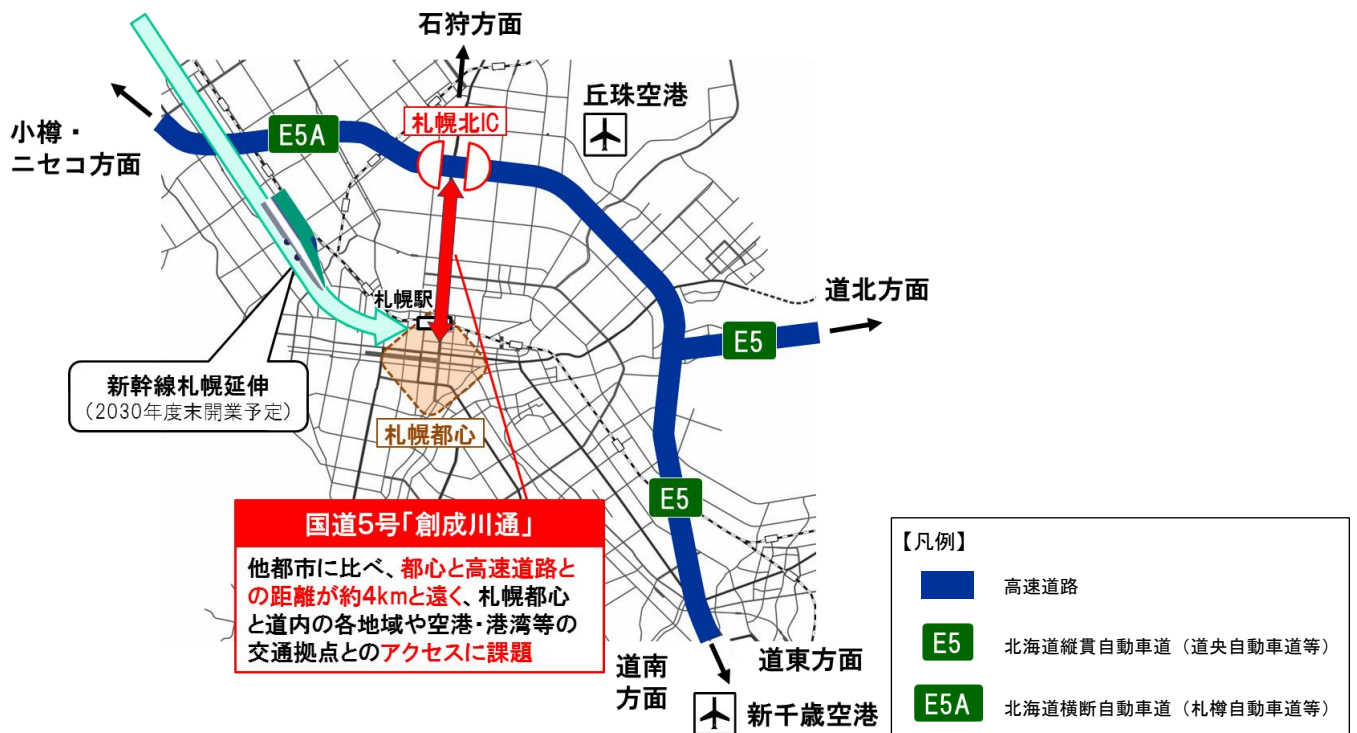
- ▶ 新幹線開業の効果を創成東地区へ波及させるため、新幹線駅施設と創成東地区とをつなぐ歩行者動線の確保等、連携のあり方について検討します。

取組の方向2) 各方面と札幌駅とのアクセス性を向上させる

創成川通の機能強化により、各方面と札幌駅とのアクセス性を向上させます。

③ 都心アクセス強化（創成川通の機能強化）との連携

- ▶ 都心アクセス強化と連携して、北海道新幹線札幌開業の効果を全道に波及させます。



都心アクセス強化の検討対象箇所

取組の方向3) 利便性の高い交通結節機能の充実を図る

各交通モードの将来需要を見据え、必要となる交通結節機能の充実を図ります。

④ バスターミナルの再整備

- ▶ 北5西1・北5西2街区の再開発と一体的に利便性の高いバスターミナル施設の再整備を行います。
- ▶ バスターミナルは北5西2街区を基本とし、必要に応じて北5西1街区にも確保します。
- ▶ 札幌市と各都市の交通結節機能を強化するため都市間バスを集約するとともに、路線バスについても可能な限り集約します。
- ▶ バス利用環境の向上のため、快適な待合空間を確保します。
- ▶ バスターミナルの整備に合わせて、西2丁目線の自動車交通の円滑性確保について検討します。



利便性の高いバスターミナルのイメージ
(上：バスタ新宿)
(下：名古屋駅バスターミナル)

⑤ 新幹線需要を見据えた観光・団体バス乗降場の確保

- ▶ 観光・団体バスについて、新たな乗降場整備の必要性や既存の北口乗降場の効率的な運用方法を検討し、新幹線開業に伴う需要増加に対応する乗降場を確保します。

⑥ タクシー・一般車乗降場の配置

- ▶ 新幹線利用者に対応したタクシー乗降場や、一般車の車寄せ等を確保します。
- ▶ 南口駅前広場において、タクシー乗降場の再配置について検討するとともに、滞留空間の確保を図ります。

取組の方向4) 人とにぎわいの形成に配慮した交通環境を実現する

誰にでもわかりやすく使いやすい、にぎわいの形成に配慮した、ユニバーサルデザイン（※）の交通環境を実現します。

※ユニバーサルデザイン：個人差や国籍の違い、障がいの有無に関わらずさまざまな人が利用できるように意図して建物や製品、情報などの設計を行うこと。

⑦ 誰にでもわかりやすく、バリアフリーに配慮した歩行者動線の整備

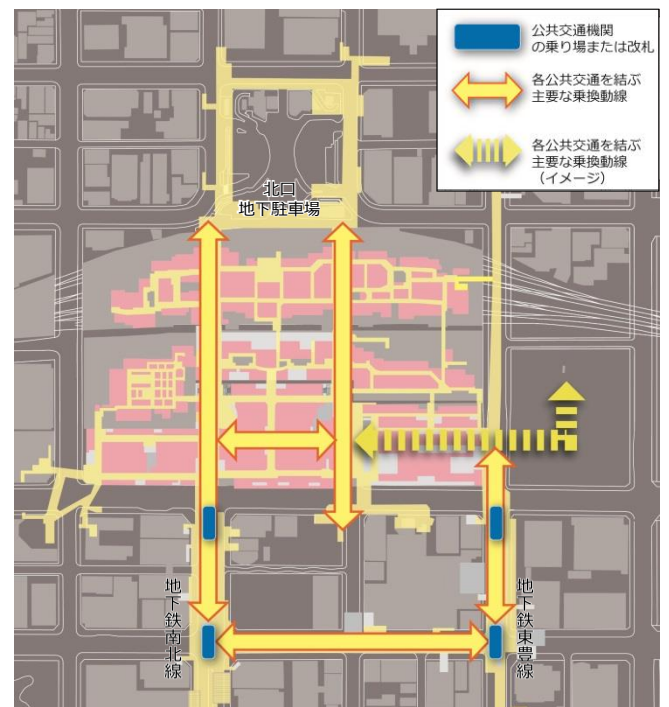
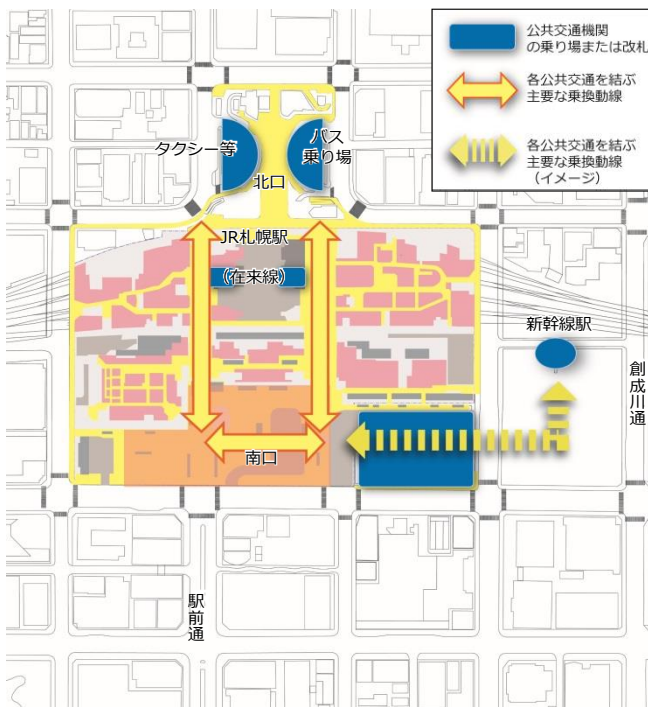
- ▶ 公共交通施設間の乗り換え利便性や回遊性の向上、バリアフリーに配慮した動線を形成します。
- ▶ 個別の建物内においてもバリアフリー化を図るとともに、地下ネットワークや建物相互の連携も検討します。
- ▶ わかりやすい誘導サインを適切な位置に配置するとともに、海外からの観光客等に対応した誘導サインの多言語化を推進します。



見通しが利き、ゆとりある幅員が確保された乗換空間のイメージ（コペンハーゲン空港）



バリアフリー動線や滞留空間等を併設した結節空間のイメージ（羽田空港第2ターミナル）



歩行者乗換動線のイメージ（左：地上、右：地下）

⑧ 駐車場・駐輪場の適切な確保

- ▶ 将来需要を見据え、駐車場・駐輪場を確保します。
- ▶ 駐車場・駐輪場の整備にあたっては、民間再開発との連携を図ります。
- ▶ 駐車場出入口の設置位置については、周辺交通及び歩行者動線への影響を十分考慮します。